

大学院農学研究科生命機能学専攻応用生命化学コース
生化学教育分野（助教）の募集

1. 対 象 者

(1) 所属・職名 : 大学院農学研究科 生命機能学専攻 助教 1名
教育組織 : 応用生命化学コース

(2) 教育分野 : 生化学

真核細胞の構造と機能を、生化学および遺伝子工学の手法を用いて明らかにすることを目的として、食品微生物、機能性食品成分、微生物酵素などを有効に利用するために必要な教育研究を行う。

(3) 資格条件 : ア. 博士の学位を有する者又は取得見込みの者
イ. 生化学・構造生物学・タンパク質工学・バイオインフォマティクスなど多角的なアプローチを駆使し、酵素の触媒反応機構の解明や人工的機能改変、産業応用の研究に意欲的に取り組める者
ウ. X線結晶構造解析法による構造生物学の経験のある者、又は採用後に積極的に取り組む意欲のある者
エ. 応用生命化学コースの推進する研究プロジェクトに参画可能な者
オ. できるだけ早期に着任可能な者

(4) 任期 : 5年（テニユア教員育成制度）

※ 愛媛大学のテニユア教員育成制度は、優れた能力開発プログラムを提供することに加え、財政的支援（研究費の配分等）を行うことで、若手教員の教育研究環境を充実させ、大学人としてふさわしい総合的な能力を有する教員を育成することを目的としています。任期中に審査に合格した者はテニユア職（終身雇用）に移行します。詳しくは、注）をご覧ください。

(5) 雇用条件 : 給与は、年俸制を適用する

(6) 担当授業科目 : 大学院: 生命機能学先端研究（分担）、生命機能学演習Ⅰ（分担）、生命機能学演習Ⅱ（分担）、応用生命化学特別実験Ⅰ（分担）、応用生命化学特別実験Ⅱ（分担）
学部: 応用生命化学概論（分担）、生命機能学基礎実験（分担）、生命機能学実験Ⅰ（分担）、応用生命化学セミナーⅠ（分担）、応用生命化学セミナーⅡ（分担）、卒業論文（分担）

2. 提 出 書 類

(1) 履 歴 書 : 所定様式 1通

（所定様式は下記からダウンロードしてください。
<https://www.agr.ehime-u.ac.jp/outline/inquiry>
お問い合わせ＞教員公募に関すること＞履歴書様式）

(2) 研究業績等目録 : A4版横書き（論文別刷り、著書及び参考資料各1部添付）

学位論文—題目、年

著 書—書名（編、単著、共著、分担）、総頁数、著者等（分担項目、頁）、出版社、発行年

学術論文—全著者、年、題目、誌名、巻（号）、通頁

参考業績—学術論文に準ずるもの、特許や外部資金獲得、社会貢献等の実績
なお、口頭発表は件数のみで可

教育実績—担当授業科目、場所、期間

* 学術論文別刷りについては、すべてPDFファイルにして、記録媒体（USBまたはCD-Rなど）で提出する。その他の業績は、PDFファイルまたは紙媒体で提出する。

* 著書については、現物、現物の抜刷り又はコピー可。

(3) 現在までの教育研究内容の要約（800字程度）
着任後の教育研究に対する抱負（800字程度）

(4) 博士の学位を未取得の者は、取得見込みを証明できる書類

(5) その他参考となる資料

3. 応募期日：令和5年2月7日（当日消印有効）
（書留等確実な方法を用い、当方から連絡する場合の宛先、電話番号及びメールアドレスを明記のこと）
4. 送り先：〒790-8566 松山市樽味3-5-7 愛媛大学大学院農学研究科長
（封筒に「生化学教育分野」と朱書のこと）
5. 選考方法：一次：書類選考
二次：面接及びセミナー
（但し、旅費等の経費は自己負担とする。状況によりオンラインでの実施も可能。）
6. 問い合わせ先：農学部総務チーム 電話 (089) 946-9803
FAX (089) 977-4364
e-mail: agrshomu@stu.ehime-u.ac.jp
※メールの件名を「生化学教育分野公募」とすること。
7. 公募書類の送付先：所定

[付記]

コースの状況（令和4年12月8日現在）

専任教員：教授5、准教授4、講師1、助教3

[生化学教育分野 教授1]

兼任教員：教授1、准教授3

生化学教育分野のURL；<http://web.agr.ehime-u.ac.jp/~biochem2/index.html>

研究プロジェクトのURL；<https://www.agr.ehime-u.ac.jp/arg/seimeikinou.html>

- (1) 本学は、男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って、教員の選考を行うとともに、ダイバーシティ研究環境実現の取組を推進しています。
- ・若手研究者キャリア支援事業：若手研究者（出産・育児負担のある女性研究者及び男性研究者）に研究活動の維持・促進、キャリア支援を行う目的で研究支援員を配置する制度です。
 - ・女性研究者支援員制度：出産・育児・病気が等治療・介護・管理運営等業務のため研究活動に支障が生じた場合、事案ごとに、女性研究者本人、または該当研究者が所属する研究室に研究支援員を配置する制度です。
 - ・Dual Career支援制度：教員のパートナーが研究者でありかつ別居している場合、該当研究者が一定期間研究活動を行うことができるように本学の研究者として採用する制度です。
 - ・保育施設：「えみかキッズ」（城北キャンパス）、「あいあいキッズ」（重信キャンパス 医学部附属病院保育施設）の2箇所を設置しています。「あいあいキッズ」には、病児保育制度もあります。
 - ・学童保育：春・夏・冬の長期休暇中の学童保育を実施しています。また、「あいあいキッズ」では、通年の学童保育を実施しています。
- (2) 個人情報保護のため、応募書類に記載された個人情報は、選考及び採用以外の目的には使用しません。また、応募の秘密は厳守します。
なお、選考の結果を愛媛大学公式ウェブサイトで公表する際、採用候補者の氏名については公表させていただきます。

愛媛大学採用情報：<https://www.ehime-u.ac.jp/recruit/>

注) テニユア教員育成制度

愛媛大学では、教育・研究・マネジメントにバランスの取れた総合力の高い大学教員の育成を目指して、平成25年4月から「テニユア教員育成制度」を導入しました。

新規採用された講師、助教ならびに一部の実務家教員等（教授、准教授等）について、5年の任期中の最初の3年間で、本学教員としての業務全般に関わる能力開発プログラム（合計100時間以上）と、研究費の配分等の財政的支援を提供します。

期間中の3年目に中間審査を、5年目に最終審査を実施し、中間審査または最終審査に合格した者をテニユア職（終身雇用）に移行させます。ただし、最終審査に不合格となった場合は、5年で任期満了となります。

なお、詳細については本制度に関するホームページ
(URL：<http://ts.adm.ehime-u.ac.jp/>) をご覧ください。